

平成 30 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	檜葉町屋内体育施設エネルギー構造高度化・地域振興事業	
補助事業者名	福島県檜葉町	
補助事業の概要	「檜葉町地域エネルギービジョン」を基に、省エネルギーの推進、再生エネルギーの導入・活用、地域振興に努め、地域住民の理解を進めながら多様なエネルギー構造の実現を図るとともに、持続可能な「新生ならば」の実現することを目的とし、「檜葉町屋内体育施設エネルギー構造高度化・地域振興事業」として、屋内体育施設「ならばスカイアリーナ」における再生可能エネルギー設備の導入を行った。	
総事業費	382,976,640円	
補助金充当額	382,976,640円	
定量的目標	○電力自給率を 45%以上（太陽光発電と蓄電池の高効率な活用） ○系統電力停電時に 12 時間以上の電力バックアップ（蓄電池の活用）	
補助事業の成果及び評価 （事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	檜葉町地域エネルギービジョンにおいて、施策を象徴し先導する事業として掲げられたリーディングプロジェクトが実現し、地域住民のエネルギー構造高度化に対する理解促進が図られ、多様なエネルギー構造の実現と持続可能な「新生ならば」の実現につながる事となる。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	①檜葉町屋内体育施設再生可能エネルギー設備導入工事実施設計のため ②檜葉町屋内体育施設再生可能エネルギー設備導入工事のため ③檜葉町屋内体育施設再生可能エネルギー見える化工事（電気）のため ④檜葉町屋内体育施設再選可能エネルギー見える化工事（建築）のため
	契約の方法	①随意契約 ②指名競争入札 ③随意契約 ④随意契約
	契約の相手方 （間接補助先）	①株式会社山下設計 ②三共設備株式会社 ③三共設備株式会社

		④前田建設工業株式会社
	契約金額（間接補助金額）	①6,156,000円 ②359,972,640円 ③7,776,000円 ④9,072,000円
来年度以降の事業見通し	本事業による検討を基に、令和元年度に設備導入、令和2年度にエネルギーマネジメントの運用を開始することを予定している。	

（備考）

- （1） 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- （2） 補助事業の成果及び評価の欄には、（1）で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- （3） 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- （4） 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。